

# 2015 全国母と女性教職員の会

子どもたちに平和な未来を  
—戦後70年 今、行動するとき—

8月1日（土）、東京かつしかシンフォニーヒルズモーツァルトホールにおいて、「子どもたちに平和な未来を～戦後70年 今、行動するとき～」のテーマで全国集会が行われました。福井県からは、保護者7名と女性教職員9名、県教組本部2名が参加しました。

開会行事の後、「戦後日本の平和主義・立憲主義の岐路に立って」というテーマで、千葉大学教授の三宅晶子さんがコーディネーターとなり、太平洋戦争のとき補助看護婦として働いていた沖縄県の中山さくさん、横浜市で読み聞かせの活動を行っている櫻井雅美さん、日中韓平和教材実践交流集会リーダーの岩下真一郎さんによるパネルディスカッションが行われました。また、女性5人「アウラ」が美しい歌声を披露しました。



8月2日（日）、日本教員会館において、15の分科会が行われました。第2分科会「小学生」では、大野支部の今村明子先生が「すこやか尚徳っ子～保護者との連携を通して～」というテーマで発表されました。幼保小中が連携をとりながら校区の子どもの姿を見つめ、生徒指導上の問題解決や豊かな心と学ぶ力を育む教育を図っている実践例を紹介されました。第8分科会「健康の問題」では、小浜支部の田邊典子先生と三方支部の岸本信子先生が司会者として活躍されました。



参加された方からは、「今、安保法案で日本は大変な議論が巻き起こっているんですね。自分の子どもと話し合ってみなくてはいけないと感じました。」「わが子・教え子を再び戦場に送るな！という言葉は今また心にしっかりと刻まなくてはいけないと思いました。」という感想が寄せられました。



**全国母と女性教職員の会に参加していただいた各支部代表の母親の皆さんの旅費は、女性部のカンパ金でまかなわれています。**